

各 位

 上場会社名 株式会社アバールデータ
 代表者 代表取締役社長 広光 勲
 (コード番号 6918)
 問合せ先責任者 管理本部部長 大関 拓夫
 (TEL 042-732-1000)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,270	220	240	150	24.36
今回修正予想(B)	2,880	90	115	70	11.20
増減額(B-A)	△390	△130	△125	△80	
増減率(%)	△11.9	△59.1	△52.1	△53.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	2,801	117	154	95	15.58

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,850	525	560	345	56.02
今回修正予想(B)	6,260	345	385	235	37.60
増減額(B-A)	△590	△180	△175	△110	
増減率(%)	△8.6	△34.3	△31.3	△31.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	6,204	429	480	301	48.91

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200	210	235	150	24.36
今回修正予想(B)	1,880	90	120	75	12.00
増減額(B-A)	△320	△120	△115	△75	
増減率(%)	△14.5	△57.1	△48.9	△50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,802	95	137	91	14.96

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	460	500	320	51.96
今回修正予想(B)	4,000	270	315	200	32.00
増減額(B-A)	△500	△190	△185	△120	
増減率(%)	△11.1	△41.3	△37.0	△37.5	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	4,180	367	422	281	45.63

(注)業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は

今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1)連結

年初より各種半導体関連の需要が活発に推移しており、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が再開されましたが、当期前半より、半導体製造装置関連市場においては生産面における調整が続いております。このため平成26年5月13日に発表しました第2四半期累計期間における売上高の予想数値を下回る見込みとなりました。また営業利益、経常利益及び純利益も、生産稼働率の低下による売上総利益の減少によりそれぞれの予想数値を下回る見込みとなりました。

通期につきましては、第3四半期以降は半導体製造装置関連市場における調整局面が終了し、需要は緩やかな回復基調を持続してゆくものと思われまます。このような状況のもと第2四半期までの状況も鑑み、通期連結業績予想においては、上記のとおり業績予想を修正いたします。

(2)個別

連結における修正理由同様、個別においても前回の業績予想を修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月13日発表)	—	7.00	—	10.00	17.00
今回修正予想	—	5.00	—	7.00	12.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	6.00	—	9.00	15.00

修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、安定的な配当にも考慮しつつ、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向の30%を基本に株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、既述の業績予想の修正並びに株主の皆様への利益の配分の基本方針を考慮し、上記のとおり修正いたします。

以 上